

# 息抜きの散歩道 Vol.16

編集・発行／日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1  
発行日：2021年10月31日 ホームページ <https://library.nit.ac.jp>

Web選書会を2021年9月17日(金)から9月28日(火)まで実施しました。  
LCセンターの学生ボランティア「ライブラリーサポーター」が、学生目線で選んだ図書をご紹介します。

女子も、そうじゃない人も。



『髪のこと、これで、ぜんぶ。360°どこから見ても美人になるヘアレッスン』

佐藤 友美 / 著  
かんき出版 / 刊

筋肉は裏切らない。



『ゼロから始めるガチ筋トレ：理想の筋肉がつかないところにつく!』

田中 光昭 / 著  
KADOKAWA / 刊

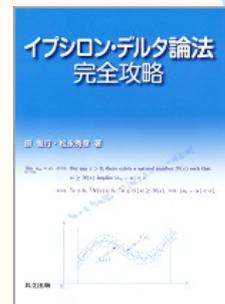
長編小説に挑戦。



『オオカミ族の少年』  
クロニクル千古の闇；1

ミシェル・パイヴァー / 著  
評論社 / 刊  
(全6巻)

学びも忘れない。



『イプシロン・デルタ論法 完全攻略』

原 惟行, 松永 秀章 / 著  
共立出版 / 刊

2015年度から、「選書ツアー」というイベントを開催してきました。

学生が書店に行き、本の内容を確認しながら、LCセンターに入れたい本を選ぶ、という催しです。

「知らない本に出会う」ことができるのが、書店で本を選ぶ楽しみのひとつだと思います。

ですが、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら2020年度は中止になりました。

そして2021年度、「選書ツアーをWebでやってみよう」と始めた企画が「Web選書会」です。

初の「Web選書会」参加者は、LCセンターのボランティア「ライブラリーサポーター」の5名です。

書店のWebシステムから、45冊の図書を選んでくれました。

Webを通しての選書では、タイトルやジャンルでしか本を選べないため、「知らない本に出会う」ことが難しいと思います。

その一方、期間中なら、いつでも好きな時間に本を選べるという利点もあります。

書店からWebに場が変わっても、学生が選んだ本です。バラエティ豊かな、さまざまなジャンルの図書が揃いました。

ぜひ、ライブラリーサポーターが選んだ45冊に会いに来てください。お待ちしております。

## 貸出ランキング

集計期間：2021年 4月1日 ~ 2021年 9月30日

### 1. 貸出11回

『JMP活用統計学とおき勉強法：革新的統計ソフトと手計算で学ぶ統計入門』新村秀一 / 著 講談社 / 刊

### 2. 貸出8回

『猫のなるほど不思議学：知られざる生態の謎に迫る』岩崎るり / 著 講談社 / 刊

### 3. 貸出6回

『「みる/みられる」のメディア論：理論・技術・表象・社会から考える視覚関係』

高馬京子, 松本健太郎 / 編 ナカニシヤ出版 / 刊

電車で、カフェで、ページをめくっているあの人は、  
どんな本を読んでいるのでしょうか？

# 250文字ブックレビュー

先生のオススメ本から、  
新たな扉、開いてみませんか。

## 『百貨店で〈趣味〉を買う 大衆消費文化の近代』 神野 由紀 /著 吉川弘文館 /刊

673.8
J 52

現在の百貨店は化粧品や婦人服の売場、地下の食品売場が中心ですが、幼少時代の私の体験では、老舗百貨店に着飾って出かけ、大食堂や屋上の遊具で楽しむことができる特別な場所でした。老舗包装紙の季節の贈り物はたいへん喜ばれました。しかし、「かつて百貨店は女性のものではなく、近代都市に現れた購買力をもつ男性のものだった」のです。本書は、一部の好事家の「良い趣味」が大衆化現象を引き起こす場として戦前期の百貨店の活動に着目し、そこで販売された人形玩具や風流道具などの商品の背後にある「良い趣味」を読み解いています。戦前期の百貨店が近代デザインに与えた影響を知る上でもお勧めしたい一冊です。

黒津 高行（LCセンター）

## 『生命の星の条件を探る』 阿部 豊 /著 文藝春秋 /刊

445
A 12

配架場所：4階

私は高校時代に「宇宙人が居る(居ない)事を証明するにはどうしたらよいか？」という課題を地学の先生から出され途方にくれた経験がある。もちろんファーストコンタクト未経験の人類にとって明確な答えはない。本書は「地球以外にも生命の星はある」という「信念」に基づきその諸条件を科学的にひとつずつ検証している本となる。地球惑星システム科学の最先端の研究成果を一般向けに書き下ろした、といったレベルをはるかに超えて、若くしてALSを発症して亡くなった作者の執念のようなものを感じる「夢の書」でもある。

中里 裕一（ロボティクス学科）

## 『アントロポセン 人類の未来: 別冊日経サイエンス 231』

日経サイエンス編集部 /編 日経サイエンス /刊

404
N 73

配架場所：4階

アントロポセン (Anthropocene) という言葉は、西暦2000年前後から地質学の分野で使われ始めた造語で、日本語では人新世 (ひとしんせい、じんしんせい) と訳されています。世界各地の海底で人工物の痕跡が堆積しつづけることがわかり、人類の営みによって受けた地球のダメージが気温の上昇以外でも目に見える形で現れ始めているようです。もはや子や孫の世代に美しい地球を残すことは不可能な段階に進んでいるのかも知れません。人類の利便性を追求したものづくりや生活様式はこのままでよいのか、考えさせられます。

増本 憲泰（機械工学科）

※邦訳：『可換代数入門』 共立出版/刊

## 『Introduction to Commutative Algebra』 M. F. Atiyah, I. G. MacDonald /著 CRC Press /刊

411.72
A 94

配架場所：4階

たまには知らない世界を探検してみるのも刺激的でよいものです。というわけで、代数学の入門書を読んでみるのはいかがでしょうか。私たちは複素数という実数より広い世界があることを高校の数学で学びました。では、整数を広げる(一般化する)とどんな世界になるのでしょうか。興味をもたれた方はこの名著を手にとってみてください。簡潔明瞭な説明も本書の魅力なのですが、特筆すべきは練習問題の面白さです。パズルを解く感覚に近いかもしれません。馴染みが薄い抽象的な数学でも「わかった」という満足感を与えてくれると思います。

佐藤 進也（情報メディア工学科）

## 『植物の形には意味がある』 園池 公毅 /著 ベレ出版 /刊

471.1
So 47

配架場所：4階

ベレ出版から発行されている植物に関する本です。身近な生き物である植物ですが、様々な種類があり、その姿も色々です。今回紹介する本では、植物の形に焦点をあてており、普段あまり深く考えたことがない内容を取り上げています。例えば、なぜ葉の形は平べったいのか、なぜ茎は細長いのか、なぜ根はもじゃもじゃしているのか……。その形になっているのには、何らかの理由があります。本書では、その理由が丁寧に解説されています。多様性にも触れており、環境問題を考える上でも参考になります。植物に興味がない方にも、お勧めです。

芳賀 健（応用化学科）

## 『小川未明童話集』 小川 未明 /著 岩波書店 /刊

913.8
O 24

配架場所：2階  
文庫新書

教科書で小川未明の童話を読んだことがあるかもしれません。小川未明の童話は、冒険物語や勧善懲悪物語などが主体ではありません。「鶴の恩返し」や「見るなの座敷」のように、主人公の約束違反で、誰かが哀れに去っていくという内容とも少し違うと思いますが、どちらかというところ、これに近く、読書後に「哀れ」が感じられる物語が多いように思います。この本を読んだときには、作者が何を訴えたいのかなどと、分析することはおすすめしません。心で感じて下さい。静かで透明感のある物語が多く、成人しても時々読みたくなる童話集です。

田中 実（建築学科）

## 『瀕死の統計学を救え! —有意性検定から「仮説が正しい確率」へ—』 豊田 秀樹 /著 朝倉出版 /刊

417
To 83

配架場所：4階

ミステリー小説風な展開で、統計的検定における『p値』の濫用に対して警鐘を鳴らし、数値例で詳しく説明もなされた、やや急進的な内容の本である。「はじめに」を読めばわかるが、通例の謝辞は、名前を挙げられた人が困る可能性を憂慮し、書かれていない。実験結果等の妥当性をp値<0.05で機械的に判断する学術論文の査読では、経済学で言われる「神の見えざる手」が働き、再現性のない論文が量産される事を危惧している。処方箋は尤度原理で、ベイズ推定の方がp値よりも分かり易く適切だと主張しており、私も前からそう思っている。

生駒 哲一（電気電子通信工学科）

## 『彼女のこんだて帖』 角田 光代 /著 ベターホーム出版局 /刊

913.6
Ka 28

配架場所：8階

表紙が印象的な本書。料理をテーマにした、15話からなる短編小説集である。各話10ページ程度なので、休み時間などで少しずつ読むことができるのもよい。個人的には「なげなしの松茸ごはん」が面白かった。物語の終盤に、主人公の依子がなげなしの3万円(全財産!)で松茸を買うのだが、その理由がすごい。自分には無理だ、買えない。あなたは買えるだろうか? 本書には丁寧なレシピもついている。「餃子鍋」や「きのこマーボー」など、お手頃なメニューも多い。読書の秋、食欲の秋。試してみたいだろうか。

高岡 邦行（共通教育学群）

## 「図書館でスタンプラリー」

期間：2021年7月5日(月)～7月17日(土)

主催：ライブラリーサポーター

館内ですべてのスタンプを集めた学生に、景品をプレゼントしました。4種類のスタンプは、ライブラリーサポーターが3Dプリンターで自作しました。スタンプラリーの参加者は学生35名で、好評のうちに終了しました。

なお、工業技術博物館より、景品として、ペーパーラフトをご提供いただきました。ありがとうございました。



館内のスタンプ台。

## 「新型コロナウイルス」感染防止にご協力をお願いします。

- ・館内ではマスクの着用、手指の消毒をしましょう。
- ・手に取った本は、書架に戻さず「返本台」に置きましょう。
- ・ソーシャルディスタンスを保ちましょう。
- ・オープンスペースでは、1テーブルにつき、1人で利用しましょう。



ご協力をお願い致します。



オープンスペース



手指の消毒

## ライブラリーサポーターを募集しています。

LCセンターをより魅力的な場所にするため、「学生目線」でお手伝いしてくださる方を募集します。本が好き、図書館が好き、大学生活を充実させたい方など、たくさんのご応募お待ちしております。

**応募資格**： 本学に在籍する学部生・院生（学科・学年不問） 無償ボランティアでの活動となります。

**活動期間**： 年度単位。月1回程度のミーティング。  
イベントや作業中はその都度集まります。

**活動内容**： ライブラリーカフェ等イベントの企画、及び運営  
LCセンターの活動への提言、選書ツアーへの参加

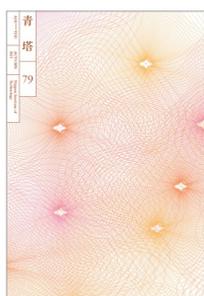
**応募方法**： LCセンターにて配布の応募用紙を2Fカウンターに提出。



選書ツアー



イベント企画・運営



### 『青塔』秋号を発行しました。

秋号は、大学生活や研究テーマを中心に、主に新任の教職員の皆さまにご寄稿いただきました。

LCセンター内で配布しています。  
ご自由にお持ちください。  
リポジトリでも公開中です。

## LCセンター2階特集展示

10/25(月)～11/20(土)  
「先生と先輩がすすめる本」

Web選書会で学生が選んだ図書と、  
250文字ブックレビューの紹介図書を展示します。

## 開館カレンダー (変更になる場合があります。)

10月 October							11月 November							12月 December							2022年 1月 January						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	
31																					30	31					

通常開館日	9:00-20:30	休館日	日曜・祝祭日・本学休業日	短縮開館日	9:00-17:00	変更開館日	9:00-18:00
-------	------------	-----	--------------	-------	------------	-------	------------